

異種による第4波が懸念され  
さて、コロナウィルスは変  
など減収となり、予算規模は  
一般会計で1388億円(対  
前年度3.7割の減)となり  
近年にない小型予算となりま  
した。



### 西大寺駅南広場 4月1日供用開始

昭和63年から取り組まれてきた西大寺  
駅南地区画整理事業の駅前整備も3月  
末で本会議の供用開始されました。  
駅前完成し、委員会も整備、路線バス、エスの  
駅一乗入れも市も実現から要望シ  
乗リ場も出来た。多かつた。広  
大

新年度予算ではリムジンバス用上屋も  
設置予定です。今後とも一般車の導線、配  
置など市民の声をしっかりと反映させます。



リムジンバスの走行試験(西大寺南町)

新年度の予算を決める奈良  
市議会3月定例会が終了しま  
した。  
新年度予算では、新型コロナ  
ナウィルス感染症の影響等  
で、市民税(個人・法人)で  
約13億円、固定資産税12億円

ていますが、これまで、  
▽市立奈良病院の病床確保  
▽PCR検査体制の充実  
▽市民税「密」を避け移動で  
きるための妊婦や高齢者  
のタクシー補助券配布  
などに取り組んできました。

これからも「市民が安心し  
て暮らせるまちづくり」に  
がんばりたいと思います。



安心して暮らせるまち  
奈良市議会 無所属 議員選挙区  
Finneston's Office

## 市民生活を守るために 奈良市会議員 松石聖一



耐震対策予定の阪奈道路無名橋001(中町)

### 大規模災害に備え 阪奈道路 無名橋の耐震対策を

最近、各地で地震の発  
生が報告されています。  
南海トラフ巨大地震やそ  
の直前に起こるかも知れ  
ない奈良盆地東縁断層帯  
の地震に備えて、救援物  
資や人を運ぶ緊急輸送道  
路確保は喫緊の課題で  
す。昨年以來、本会議や

### 奈良市総合医療検査センター 設備の改修を

市民が、MRI検査などで、奈良市総合  
医療センターを増えている  
医療センターは市医師会に  
設置を、平成8年以來、奈良市医師会に運営を  
任されていますが、建設後25年を経過して、  
施設も老朽化が進んでいるようです。

同所トイレを利用して高齢者から、洋式  
が1基しかなく、困ったという声をお聞き  
しました。

そこで、3月本会議で市長に、開設当初  
と比べて市民の生活様式も変化した今、トイレを  
初めとした設備など改修をすべき  
ではと質問しました。



奈良市総合医療検査センター(柏木町)

市長は、  
施設は、指定管理制度により、市医師会  
に管理をお願いしている。日常の設備・備  
品の修繕は指定管理料の中から医師会側が  
行うことになっているが、大規模な修繕に  
ついては市と医師会で協議するとなっている。

新年度では防災盤の更新と空調設備の改  
修を予定しているが、トイレの改修につい  
てはコロナ対策の点からも有効なので、医  
師会と協議し計画的に維持管理していく、

と答えました。

委員会、阪奈道路路学  
前インタの通称無名橋  
の耐震対策を要求してき  
ました。2年度では名阪  
国道の米谷町の工事が行  
われており、これが完了  
することから、新年度で  
は、この無名橋と富雄間  
の3橋(無名橋001、

大和架道橋・学園大和歩  
道橋)の耐震工事予算約  
4.2億円)が確保でき、  
耐震化工事が出来ること  
になりました。同じく第  
1次緊急輸送道路の、第  
2阪奈道路の3橋につい  
ても、耐震補強実施設計に  
着手します。

あなたの声を  
お聞かせ下さい



奈良市議員  
松石聖一

〒630-8131 奈良市大森町283  
TEL: 0742(22)5354  
se13@nke.eonet.ne.jp

# 「学校施設長寿命化計画」 今後20年で600億円規模で改修

本市の学校施設は、具体的に老朽化が進んでいます。財政状況や、今後児童の減少傾向などを考えると校舎の新築や改築は難しい状況です。

一方で、校舎の雨漏り対策や電気・給排水設備の更新・トイレの洋式化など施設の老朽化への対



換気扇も付き、アルミ製に替わった窓枠(済美小)

策が直ちに必要です。更にコロナ対策では、教室の換気が重要な課題ですが、学校によってはまだ鉄製の窓枠が残っており、開け閉めが困難であるだけでなく、子どもたちが手を怪我する危険もあります。

そこで、昨年12月議会では「奈良市学校施設長寿命化計画」の進捗状況とそれに必要とする予算の規模と財源について聞いたところ、市長は、「現在基本的な計画は策定できたので、今後実施計画に着手、文部科学省の学校施設環境改善交付金を利用して、今後20年間で

以前、紙面で取り上げた記事の  
その後について報告します。

## 護国神社横の 道路を拡幅

議会で取り上げ、要求してきた。護国神社横の市道拡幅がほぼ完成しました。この道路は幅員が狭く、大型バスでは難所でしたが、安全に通ることができるようになりました。

また、近くの市立奈良病院には緊急用ヘリポートがありませんが、道路沿いの佐保に巨大な緊急用ヘリポートも実現することができました。そのため、この道路は救急搬送にも一役買います。(写真)



拡幅された市道(古市町)

地下道の見学会(南宮終町)

## やすらぎのみち地下道工事

旧市街地を南北に走る六条奈良線(やすらぎのみち)の地下道工事(南宮終町)も終わり、新年度では、舗装や照明・現存市道との交差点処理が予定されています。

これまで「工事の見える化」を求め、見学会を提案してきましたが、さる2月初め済美・済美南各校直近の住民見学会が開かれました。(写真)

今後の課題は、「交差する市道との信号機の設置」です。委員会では、既に関係先との協議も始まり令和4年の道路供用開始には信号機が設置できるような話を進めていると答弁がありました。

## 学園前駅南側の都市計画道路 「奥柳登美ヶ丘線」の拡幅工事

学園南のこの道路は、常に混雑しています。これまで、右折レーン設置を取り組み、議会でも、早期着工を求めました。ただ、用地確保が困難で、昨年、入札が行われましたが不調に終わりました。理由は、工事場所が狭いことが理由のようです。

そこで、予算決算委員会では用地の確保を先行し、早期に再入札をするよう求めました。その結果、昨年度末、用地確保がほぼ出来、近々再入札が行われる見通しです。



混雑する奥柳・登美ヶ丘線(学園南1丁目)

## 吉城川浸水対策

東大寺焼門西側地域(川久保・北袋町)は、吉城川の浸水対策の遅れで、ゲリラ豪雨時など常に浸水してきました。



下水道工事が始まる(川久保町付近)

そこで、建設企業委員会などで早期に浸水対策をするよう要求してきました。

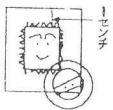
昨年度から始まった工事は、作業ヤードも確保でき、近々縦断の工事が始まります。永年の懸案であった浸水対策が、新年度で完成します。

## 使用済み切手運動

はさみ1本でできる国際協力!

封筒に貼ってあるくらし切手を周囲1cmくらい残して切り取って下さい。

裏側の紙は、切り取って下さい。



▽切手を送って下さった方。  
▽ポストに入れて下さった方。  
▽市政報告配りの途中で、声をかけ、手渡しして下さいました。

ありがとうございました。

(ユニセフの古切手運動)  
使用済み切手が集められ、市場で換金されその収益金で開発途上国に医師・看護師など医療関係者を派遣し、子どもたちの命を救うことが出来ます。現在、コロナウィルスの関係で、ボランティアさんの作業が中断されていますが、私宅で保管しております。再開され次第、発送の予定です。



ご意見・ご要望を  
松石にお聞かせ下さい  
TEL (22) 5354



軽いアルミ製の安全な門扉(飛鳥小)